

TSUMUGIウェルネス

中井美里

代表



misato.artmakenurse

ビジョン

いつでも幾つになっても綺麗は自分の中にある。鏡を見るたびにちょっと嬉しくなるそんな瞬間を届けていきます。

眉毛アートメイクやリップアートメイクは、見た目を整える美容医療としてだけでなく、その人らしさや前向きな気持ちを支える選択肢としても注目されています。この記事では、TSUMUGIウェルネス中井美里代表にインタビューし、患者に寄り添う看護の原点から、美容医療の現場で感じた葛藤、そしてアートメイク看護師としての挑戦までを伺いました。新宿区・港区・横浜市など都市部でも関心が高まる中で、中井美里さんが考える「本当に必要な医療」とは何か、その想いに迫ります(2026年4月取材)。

アートメイク看護師として挑む眉毛アートメイク・リップアートメイクの可能性

アートメイクのどの部分に魅力を感じたのですか？

私が強く魅力を感じたのは、看護師としての専門性を活かしながらも、自分自身の技術によってサービスが完結するという点であり、医療現場とは異なる形で責任と価値提供をコントロールできることに新しさを感じました。

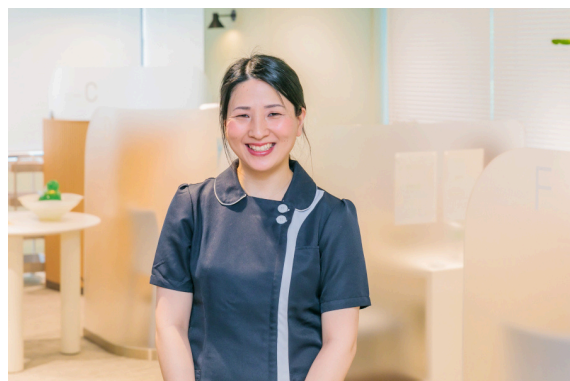
さらに、それまでの経験を通じて抱いていた「患者になる前の段階で関わることの重要性」という考えとも重なり、アートメイクは単なる美容施術ではなく、日常生活の質(QOL)を高めるアプローチの一つであると捉えるようになりました。

たとえば、美容院で髪を整えたときに気持ちが前向きになるように、眉毛やリップのアートメイクによって外見が整うことで、日々の生活の中で自然と自信や安心感が生まれ、その積み重ねが心身の健康にも良い影響を与えるのではないかと感じています。

こうした気づきを通じて、「医療」と「美容医療」の間にある境界を越え、人の生活や人生に寄り添う新たな関わり方として、アートメイクという分野への関心が一層深まっていきました。

そこからアートメイク看護師としてのキャリアにつながっていくわけですね。

私がアートメイクのスクールに通い始めたのは2024年6月で、8月には施術者として本格的にデビューし、同年12月に事業届を提出しましたが、この約半年間は生活の中心をすべて技術習得に捧げたと言えるほど、集中的に取り組んでいました。スクールの講義自体は2日間で修了しますが、その後は実践を重ねることが何より重要になるため、材料費のみをいただく形でモニター施術を約10名経験させていただきながら、現場感覚を磨いていきました。



技術の習得スピードには個人差があるものの、私の場合は5人ほどの施術を経験した段階で感覚的に「こういうことか」と腑に落ちる瞬間がありそこから一気に理解が深まっていったように感じています。もちろん、アートメイクは手先の器用さも求められますが、それ以上に重要なのは圧倒的な反復練習であり、シリコン製の顔型を使って針の深さや角度、色素の入り方を細かく確認しながら、毎日最低でも15分は必ず練習時間を確保し、それ以外の時間もほぼすべて技術向上に費やしていました。夜勤明けにそのままスクールへ向かって数時間練習を重ねたり、夜勤前のわずかな時間を使ってデザインの精度を高めたりと、日常のあらゆる隙間時間を活用しながら、自分の中に技術を落とし込んでいきました。

アートメイクは一度施術すると数年単位で残るものであるからこそ、仕上がりへの責任は非常に重く、その重みに見合う技術を習得するために練習を重ねたこの期間は、現在の施術に対する自信の土台になっています。

中井さんが一番最初に施術をされたのはどんなお客様だったのですか？

最初に施術を行ったのは大学時代の友人で、もともと眉に強いコンプレックスを抱えていた方でしたが、当時の私はまだ技術が未熟で、自分が描いたデザインは元の眉をなぞるだけのような仕上がりになってしまい、物足りなさを感じていました。

しかし、講師の先生がほんの少し手を加えた瞬間、友人の表情が一変し、「こんな風にしたかった」と心から喜んでくれたことで、デザイナー一つで人の気持ちがここまで動くのかと、プロの技術の本質を目の当たりにしたのを覚えています。

また、アートメイク看護師として初めて施術したお客様は、配布したチラシを見て来てくださった方で、「毎朝のメイクを少しでも楽にしたい」「すっぴんでも眉が整っている状態でいたい」という日常的な悩みをきっかけに来院されました。

初めての施術ということもあり、緊張で手が震えるほどでしたが、仕上がりを見て心から喜んでいただけた瞬間、それまでの不安が一気に達成感へと変わり、その後ご家族やご友人を紹介してくださったことで、「自分の技術が信頼につながる」という確かな手応えを得られました。

TSUMUGIウェルネスの理念を教えてください。

TSUMUGIウェルネスは、2024年12月に開業し、アートメイクを通じて日常に前向きな変化を届けたいという想いからスタートしました。

眉毛を整えるだけでも顔全体の印象は大きく変わりますが、私が大切にしているのは単なる見た目の変化ではなく、その先にある日常の変化です。これまで「自分には似合わない」と理想を諦めていた方に寄り添い、鏡を見るたびにふと感じる小さな喜びや安心感を、一時的なものではなく、日々の生活の中で自然に続いていくものとして届けたいと考えています。

劇的な変化を求めるといっても、生活の中に溶け込みながら、気持ちを少し前向きにしてくれるような“ささやかな幸福感”を積み重ねていくことこそが、本質的な価値ではないかと感じており、その想いを込めて一人ひとりの施術に丁寧に向き合っています…



続きはQRコードからアクセスしてください → → →

